

## ★ I am DH ★

## ～なってよかった衛生士～

## 「女性ならではの」のやりがいが発揮できる仕事

歯科衛生士の仕事の中で患者さんのお口の管理、つまりメンテナンスしていただくこと、私はこの「口腔管理」において、「ああ、歯科衛生士になって本当に良かったな」と実感することが度々あります。

先日も PMTC していると、「この回る歯ブラシ気持ちいい～」と、小学生の女の子が言うんです！

3歳当時、最初は診療室にも入れず、待合室でお母さんに抱っこされてずっと泣いていた子が、お母さんと一緒にユニットに座り、毎回のメンテナンスで機械に触れながらひとつひとつできるようになり、今では一人でメンテナンスを受けられるようになりました。口腔内をきれいにすることは気持ちのいいことなのだ実感し、言葉にしてくれたことがとても嬉しく、子供の成長のすごさに改めて感動しました。

同時に成人になるまでこの子の歯を守らなくてはならない。プロとして責任を持って仕事をしていかなければならないんだと気持ち引き締められました。

私は、女性ならではの優しさ、思いやりを存分に発揮できるのが歯科衛生士の仕事の魅力だと思っています。また、口腔衛生の維持、管理を最高のものにするためには、より患者様の立場に立って衛生士業務を行う必要があると考えています。

このやりがいのある歯科衛生士という仕事が「女の子のなりたい職業第一位」になる日がくればいいなと密かに願い、これからもたくさんの患者様のお役に立てる衛生士になれるよう、日々努力していきたいと思います。

(網代友里恵・あすなるデンタルケア)



## メンテナンスに入るまで



歯科衛生士にとって最重要の仕事といえば、やはり実りあるメンテナンスを1人でも多くの患者さんに受けてもらうことだと思います。

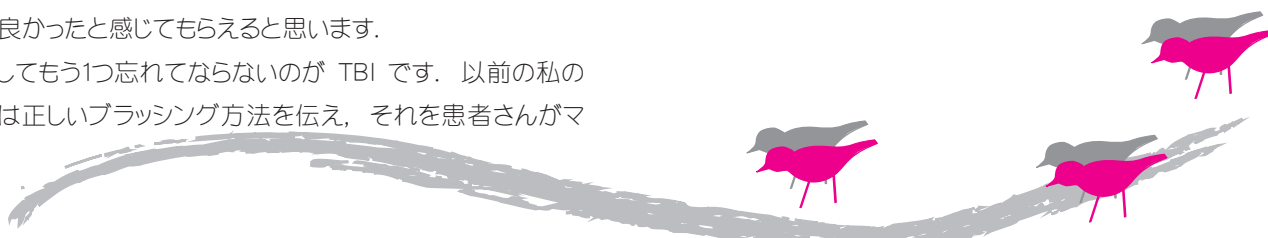
出来るだけメンテナンスが続きますように !! そのために初診から再評価までの流れの中で、私が気をつけていることといえば、まず患者さんに対して『あなたが負担と感じていることに、私たちは気付いていますよ』というアピールをすることです。初診～再評価までは口腔内写真や歯周組織検査、SRP といった苦痛を伴うかもしれないことが目白押しです。その処置の必要性を説明するだけでなく、痛みや実際痛かったときのフォロー、その苦痛の後についてくるはずの成果などを伝えることで、ここの歯科医院に来て良かったと感じてもらえると思います。

そしてもう一つ忘れてならないのが TBI です。以前の私の TBI は正しいブラッシング方法を伝え、それを患者さんがマ

スターできるよう導いていくというものでした。しかし最近、始めに「普段どんなことに気をつけて磨いていますか?」「磨きにくいと感じる場所がありますか?」などと問いかけます。そうして患者さんが元々行っていたホームケアをベースにして、そこに付け足したり、引いたりしながら2人でより良いブラッシングを探っていくようにしています。患者さんの中には「適当にしか磨いてない」と言う人もいますが、医院に来ている人の多くはこちらが思っている以上に、自分なりに色々と考えて歯磨きをしているものです。

〈すべてはメンテナンスのために〉そう思い、試行錯誤の毎日です。

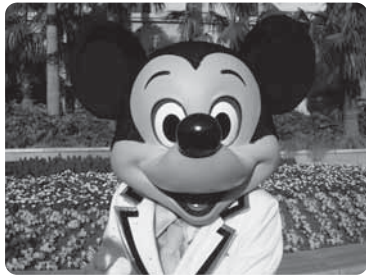
(小坂結香・大西歯科)



# YUKUSAKI

ダサイ県で有名な千葉ですが、全国に誇れるものが3つあります。

1 つめは「東京ディズニーランド」。千葉県浦安市にあるのにこのネーミングは、やはり千葉ディズニーランドだとダサイから？ ディズニーランドが開園したのは1983年（昭和58年）ですが、その構想が生まれたのは開園から22年も遡って1961年。誰が日本にディズニーランドを持ち込んだか？ それ



は当時の京成電鉄社長の川崎千春という人。京成電鉄は千葉県内を網羅する鉄道会社ですが、当時は習志野市に谷津遊園と呼ばれる小さな遊園地も経営していました。今はもう需要もなくなり潰れてしまいましたが、遊園地の少ない当時は小さな

子供連れの家族で賑わっていました。その谷津遊園拡張の際にバラ園を新設する構想を練っていた川崎千春はバラの買い付けにアメリカへ渡ります。その時運命の出会いをするわけです。つまりアメリカのディズニーランド！

2 つめは「成田山」。年に1度の初詣参拝者数は、毎年2位か3位を争う盛況ぶり！そして成田山に多くの参拝客が訪れるよう尽力したのが、前述の京成電鉄。この鉄道会社発足の目的は東京と成田山を繋ぐ鉄道を敷くことでしたので…

3 つめは今最もフレッシュな千葉名物！「どじょう総理饅頭」。現総理大臣の野田佳彦は千葉県船橋市の出身です。いつまでこの饅頭が売られるかの保証はないので買うなら今です！

ダサイながらも、掘り出すと意外と身の詰まっている千葉へ、皆さんどうぞ遊びに来てくださ～い。

（石澤厚子・杉山歯科医院）

## セミナー☆まにあ

1月に名古屋にて開催された「スタディグループKOKO」に参加してきました。

この日のテーマは、主に睡眠時無呼吸症候群とダウン症、そして乳がんについて。これらの疾患を症例とともに原因や症状、どのような検査が必要でどのような口腔内変化が現れるのか、または、現れないのか、参加者全員でディスカッションしました。

もちろん、私たちはその道の専門家ではありませんので、専門的な所見はわかりません。ですが、それぞれの持っている臨床経験や患者さん対応を活かし合い、学び合える貴重な場になりました。特に睡眠時無呼吸に関しては場合によっては歯科での対応も可能な疾患とあって、ディスカッションにも熱が入ります。基本的には肥満が原因となることが

多い疾患なので、やはり健康観の向上が必須であると再確認。歯科を通しての健康アプローチが増えました。乳がんは参加者全員女性で幅広い年代が参加しているという場でもあったため、やはり健診の意義や検査の精度について意見が分かれました。正解を出すことが必要なのではなく、たくさんの意見をぶつけ合うことで疾患への理解を深める。そんな場でした。

健康な方が唯一足を運び続ける歯科診療室という場だからこそ、ライフステージの変化にも関わらせていただける歯科衛生士だからこそ、知っておきたい全身疾患の情報。これからも学び続け、たくさんのアンテナを立てていきたいです。

（長山和枝・わたなべ歯科）

**DHStyle** (1月1日発行)

B5判 56ページ 1,260円

特集『インプラント周囲炎にしないためのプロケア・セルフケア』

**小林** 現在、当院ではインプラントは行っていませんが、インプラントをする方は年々増えています。インプラント周囲粘膜炎と、インプラント周囲炎の違いが分かりやすく記載されていて、よく理解できました。



デンタルダイヤモンド社刊

炎と、インプラント周囲炎の違いが分かりやすく記載されていて、よく理解できました。

**笠井** 当院を受診される患者さんで、インプラントのメンテナンスを受けていない方も少

なくありません。歯科衛生士がメンテナンスの重要性、必要性、ゴールがないということ伝えていくことが大切だと感じました。モチベーション維持のお手伝いをしたいです。

**小林** インプラントのメンテナンス方法、セルフケア指導のポイントはとても興味深く読むことができました。今後の参考にしたいです。

**笠井** プロケアのインスツルメントは、見たことのない器具の写真が掲載されていました。インプラント専門ではないとはいえ、知識不足を反省しました。

**仲村** 私は、学生の頃も実習先でインプラントを間近でみる機会がなかったため、

まだまだ勉強不足です。患者さんの気持ちになって読むと、やはり歯科衛生士担当制で術前術後にサポートやケアのアドバイスをしているととても心強くだらうなと感じました。

**小林** インプラントを行う場合、歯科医師の施術のアシスタントだけではなく、患者さんの心のケアは歯科医院のスタッフの大きな役割だと感じました。

**仲村** 一番はインプラントにならないよう予防することですが、これからますます増えるであろうインプラント患者に対応するため、より勉強しておきたいと思いました。

# あの本 この本 読みくらべ隊



(笠井みなみ・小林美佳・仲村麻衣子: 武内歯科医院)

**デンタルハイジーン** (1月20日発行)

B5判 96ページ 1,365円

新春特別企画『アクセルソン先生に訊く! 予防歯科の現在・未来』

**仲村** 長期間メンテナンスを続けている患者さんの対応で気をつけていることはマンネリ化しないことです。アクセルソン先生もおっしゃっていますが、リスク部位を術者が把握して、患者さんにも把握してもらうことがメンテナンスにおいては重要だと思います。

**笠井** 患者さんひとり一人のリスクを見つけて、来院の度に伝えていくことが大切だと思いました。

**小林** 患者さんのリスクをしっかりと見極めていく目を持ちたいと強く感じました。メンテナンスではリスク部位を重点的に行い、オーバートリートメントにならないように気をつけたいです。



医歯薬出版刊

**仲村** 歯の磨耗は目ではわからないミクロの世界だからこそ、より研磨には気をつけたいと言えませんか。

**小林** 患者さんが自分で気が付いてセルフケアできるようなサ

ポートをしていきたいです。

**笠井** そうですね。患者さんに責任を与えることでモチベーションが持続されることを試してみようと思いました。

**小林** 研究結果が数値で出ているため、メンテナンスの効果があるということが現実的に理解できました。

**歯科衛生士** (1月10日発行)

A4変型判 100ページ 1,470円

特集『今すぐ診療に取り入れられる! 患者さんのエイジング対応 身につけておきたい知識と実践例』

**笠井** 23ページ図7.8のようなやり方は知りませんでした。麻痺がある方、誤嚥のリスクが高い方が来院された際は試してみようと思います。

**仲村** 気が付くと服用薬の種類が変わっていることもあるため、メンテナンス時には忘れずに確認しようと思いました。

**小林** 当たり前のように出来ていたことが出来なくなることで、自尊心が傷付いてしまう可能性があるため、傷付けないよう、敬意をもった言動・行為をしていこうと改めて感じました。患者さんの気持ちを理解していけるようコミュニケーションを十分に取っていきたいです。

**笠井** 私は、加齢には個人差があると知り反省しました。患者さんによって性格も違うため、その方にあっただ対応を心がけたいです。

**仲村** 高齢者の口腔

ケアを施設で行っているため、転倒には注意が必要と理解していましたが、歯科医院に来院される方は大丈夫と心の隅で感じている部分がありました。危険性に注意して接していきます。

**小林** 誘導の仕方や座り方、チェアの角度など工夫により、安全な診療を提供していけますね。また、緊急時に使用する機器類もしまったままになっているため、メンテナンスを行い、使用方法をスタッフで確認しておく必要があると思いました。

**笠井** 血圧計の使い方も改めてスタッフで確認したいです。

**小林** 『自分自身が高齢者になったときにしてもらいたい医療を行う』この言葉が胸に響きました。



クインテッセンス社出版

見学院院 さいとう歯科室 (北海道札幌市)

見学日時 平成23年11月25日 (金)  
10:00~13:00

### 見学のポイント

- 歯科医院とは思えないオシャレな内装
- 役割分担が明確
- 基本セットは院長の強いこだわりあり!  
とにかく仲良し!

# 突撃!!ヘルスケア診療室!

(山田美穂・河野歯科医院, 落合真理子・ひかり歯科)

## ① 歯科医院とは思えないオシャレな内装

さいとう歯科室は一見するとオシャレな美容室かと思うほど! 歯科医院としては珍しい内装です。

まずは、待合室。広い待合室の一角にはパーテーションで区切られていない受付があります。受付には、後ろ棚、カルテ棚はありません。一見するとここが受付なの? と不思議に思ってしまうのですが、必要なものは機能的に配置されています。診療室も「本当に歯科医院なの?」と思ってしまうくらいの凝った内装です。

4台あるユニットは2台が高めのパーテーションで区切られていて、衛生士用の2台は個室ですが…なんとガラス張り! ガラス張りですが、木のブラインドでプライバシーが守られるような作りになっています(普通のブラインドでないところがオシャレ!). 歯科衛生士用ユニットの個室で驚くのは、照明が蛍光灯ではなく間接照明ということです。ほんのり暗い個室はエステの個室のようで、眠ってしまう患者さんも多いとか。消毒室もオープンなスペースで、院内に視野を遮る壁がないのが特徴の内装です。一見の価値ありっ!

## ② 役割分担が明確

「歯科助手」ではなく「サポートスタッフ」という名札をつけているスタッフが受付から消毒滅菌、アシスタントなど何でもこなします。サポートスタッフがテキパキと動いてくれるので、混み合っている時間でも忙しさを感じさせない、ゆったりとした空間が流れていました。衛生士も患者さんをお見送りした後はサポートスタッフが片付けをしてくれるおかげで業務記録の記入に集中できます。



## ③ 基本セットは院長の強いこだわりアリ!

さいとう歯科室の基本セットは、金属トレーが2枚一緒に滅菌パックで滅菌されています。

一つは普通の基本セット。そして、その上に小さめの金属トレーにピンセットが一本…これをブラケットに並べて診療します。

小さめトレーは、院長のこだわり!

診療中にワッテや小物を取る時に診療で使用するピンセットを使わないようにするためなど、清潔域を保つ工夫なのだそう。ちょっとした工夫が診療の効率UPに繋がるのですね。

## ④ とにかく仲良し!

さいとう歯科室の特徴は、何と言っても仲良しなこと!

お昼休みは院長も一緒にスタッフルームでランチ。でも、テーブルはスタッフのお弁当でいっぱいなので下に置いて愛妻弁当…☆手作りのお弁当が並ぶランチタイムは、おかずをお裾分けするのが恒例!

おかずが少ないちょっと寂しいお弁当でも、院長の愛妻弁当や他のスタッフからおかずがどんどんお裾分けされて結局一番豪華なお弁当になることも☆こんなに仲良しの医院だからこそ、チーム医療も上手くいくのですね。

ちなみに、さいとう歯科室では、院長のことを下の名前と呼ぶこともあるんですよ! 院長のお名前は齋藤仁(ひとし)先生。呼び方は「スーパー仁くん」。スーパーと呼び



たくなるくらいに、ステキな先生なのです☆ 昨年末に寿退社した歯科衛生士の阿蘇さんは「辞めたくない! みんなと離れたくない…」とさいとう歯科室が大好きだったようです。

現在産休中の歯科衛生士の生富さんは「産後4か月で復帰したい!」と復帰を楽しみにしているそうです。

女性が楽しく、長く働ける環境が整ったさいとう歯科室。

ヘルスケア診療になくてはならないチームワークが地域に愛される医院の源なのだと感じた一日でした。

見学当日は、11月

1でしたが小雪ちらつく寒い日でした。お忙しい中見学を受け入れてくださりありがとうございました! 北海道は遠いのですが、また必ず行きたくなる。そんな医院でした!



## 編集後記

【The HyG Times】第15号です。

今回は歯科衛生士として読み応えのある内容になったと思います。やはり「歯科衛生士になって良かったな」と改めて思いました。そして衛生士だけでなく、助手や受付、技工士、そしてもちろん歯科医師とそれぞれの役割をきちんとこなす全員プレーでこそ【ヘルスケア型歯科医院】が成り立っていくことも実感しました。今年度も更に充実した内容でみなさんにお届けできるよう編集部一同、頑張ってますのでよろしくお願い致します。

(『ハイジなわた歯』隊長; 山田美穂) 情報提供・質問・問い合わせ: yamie\_damie76@yahoo.co.jp